

2023年12月8日

YACかわら版415

大雪の頃 12月8日
多様に調べる

12月7日は、二十四節気の「大雪(たいせつ)」でした。「大雪」は雪が大いに降り積もる頃ということだそうです。

「大雪」の次の日、12月8日は関東から西の広い範囲で、晴れるところが多い天気でした。

センチネル3が12月8日10:53に観測したデータがそれを示しています。①

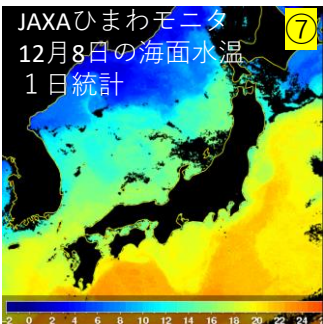
その約24分後ランドサット8は、11:17に中部地方を観測しました。②③

②では、雪も雲も白くて区別が付きません。

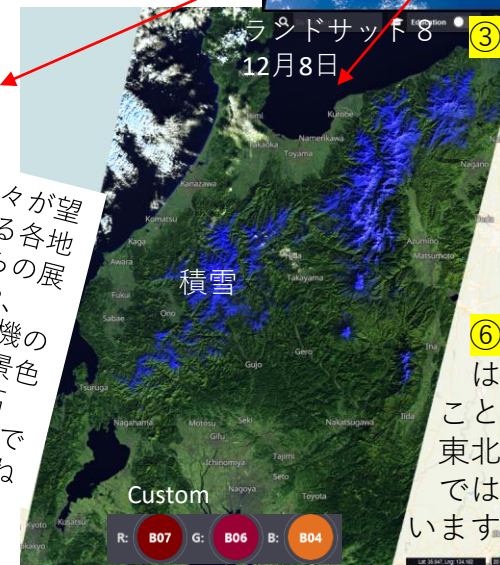
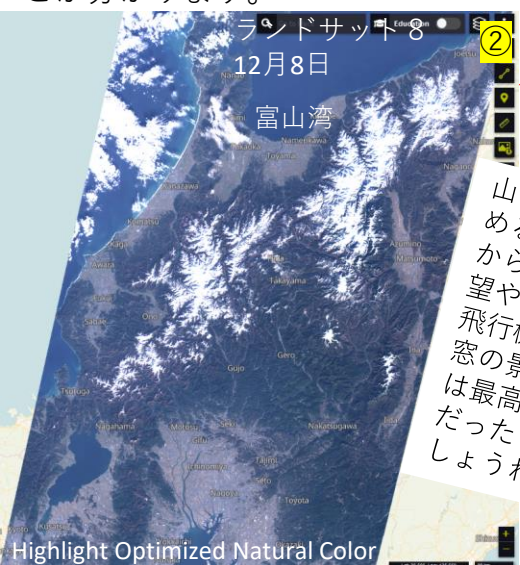
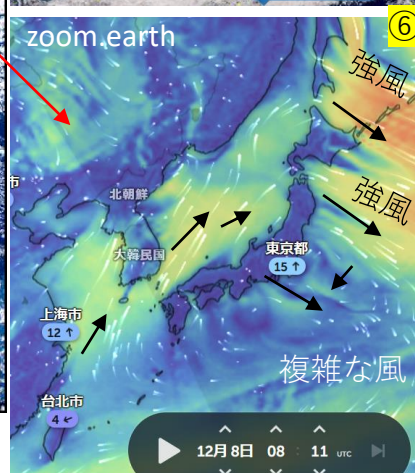
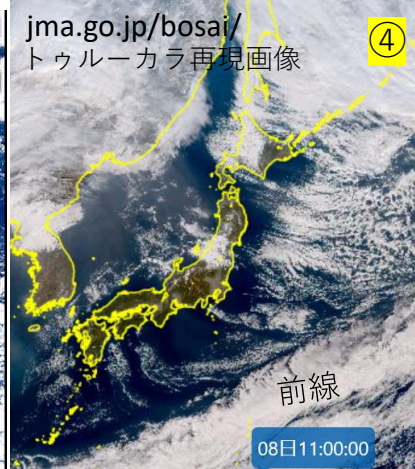
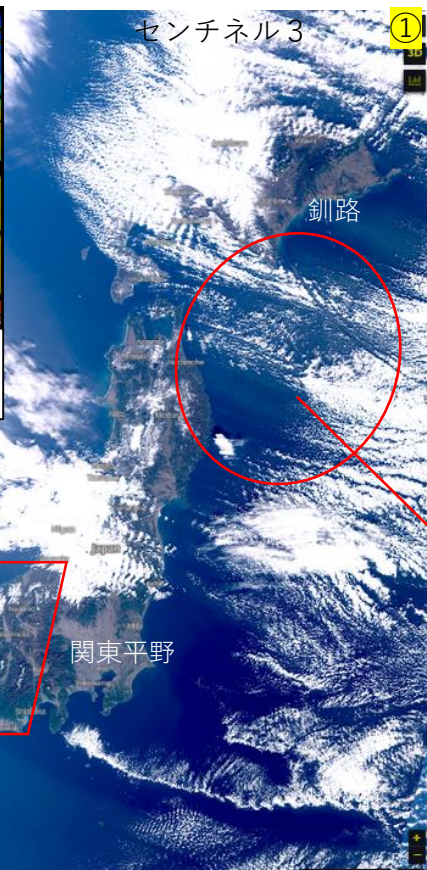
③では、雪や氷は青紫で、雲は白です。富山湾に臨む山々の高い場所は、すっかり雪です。

④はひまわりのトゥルーカラ再現画像です。雲の白さが強調されています。

⑤はJAXAひまわりモニターの雲タイプ (ISCCP定義) 画像です。日本列島や北海道の雲は高度が低いことが分かります。



海面水温が広い範囲で把握できました



山々が望める各地からの展望や、飛行機の窓の景色は最高だったでしょうね

ISCCP雲分類方法表 ⑤-2

雲頂気圧 (hpa)	ISCCP雲分類		
180	高薄	高中	高厚
310	中薄	中中	中厚
440	低薄	低中	低厚
560			
680			
800			
1000			
	雲光学的厚さ		
	1.3	3.6	9.4
	23	60	379

⑥では、東北地方には強風が吹いていることが確認できます。東北地方の太平洋側では、雲が筋になっています。

